

国土交通省「国際物流の多元化・強靱化」実証輸送に参画しました

東アジア有事を見据えた「南回り代替ルート」の実証輸送を全面サポート。実験の概要やその結果をまとめてお届けします。

1 実証実験の背景と、当社の3つのミッション

東アジアの地政学リスクが緊迫化するなか、有事の際にも供給網を寸断させない「代替ルート」の確保は、海外への輸送を伴うビジネスを持つ企業にとって最重要課題です。今回、**本田技研工業株式会社様**からBCP航路のご相談をいただいたことを受け、**国土交通省「国際物流の多元化・強靱化」実証輸送(2025年度)**において、自動車補修部品を運ぶ南回り代替ルートの検証に当社が参画。本田技研工業株式会社様の知見と、当社のネットワークを活かして以下3つのコア業務を全面サポートしました。

1 ROUTE DESIGN

南シナ海迂回ルート設計

南シナ海を回避し、名古屋港発→豪州(メルボルン)経由→タイ(レムチャバン)着という難易度の高い南回りルートを構築。

2 SHIP ARRANGE

RORO船の確実な手配

特殊な条件下で自動車補修部品を安全・効率的に積込むRORO船(車輛甲板型船)のスペースを確保。

3 DATA

実務データの緻密な収集

ルート変更の物理的・金銭的影響を可視化するため、輸送中の**動態・環境データ**を収集。

▶ 南回り代替ルート

有事で封鎖が想定される南シナ海を回避し、豪州を大きく南下して迫るルート。その分、航海日数も大幅に増加します。

NAGOYA

MELBOURNE

LEAM CHABANG

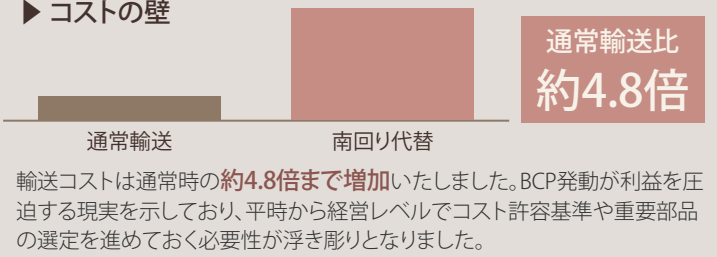
約19日

約16日



2 実証データが浮き彫りにした「コスト」と「品質」の現実

▶ コストの壁



▶ 品質の壁

オーストラリアを経由するという特殊な航路を通過したことで、想定以上の高湿度環境にさらされ、到着時に**外装木箱にカビが発生する**品質課題が確認されました。単に「地図上のルートを変えるだけでは供給網を維持できない」という代替輸送の実務上の死角であり、該当エリアの通過を見据えた「防湿・防カビ梱包技術」の適用が必須の対策であると実証されました。

3 精神論から「数字と品質管理に基づく経営戦略」へ

今回の実証実験で得られた貴重なファクトと課題は、これからの不確実な時代において、皆様のサプライチェーンを守るための確かな知見になると確信しております。単なる輸送の手配にとどまらず、弊社は一歩踏み込んだロジスティクス提案でお客様をサポートいたします



① 実証データに基づくルート設計力

実務データの裏付けをもって最適な迂回ルートを設計します。平時からシー＆エアや陸路など複数の代替肢を契約・トライアル輸送しておくマルチモーダル化をご提案いたします。



② 特殊環境に対応する梱包・品質管理提案

劇的なルート変更に伴う湿度や温度変化を見据え、防湿・防カビを施した「梱包設計の標準化」をご提示。貨物の到着品質まで見据えた最適な輸送環境の構築をお手伝いいたします。



③ 世界的な代理店網による特殊船手配力

難易度の高いRORO船手配のノウハウを活かし、世界各地の強力な代理店網を活用。有事にも迅速にスペースを確保し、ドア・ツー・ドアの複合一貫輸送まで包括的に対応いたします。

単なる輸送手配にとどまらず、過酷な環境を見据えた梱包提案からBCP戦略立案まで、実務とコンサルティングの両面で、お客様のサプライチェーン強靱化を支援いたします。担当営業までお気軽にご相談ください。